



ひ

日照りでも

つきぬ入谷の

番神水

番神水

円教寺の北東裏山にある番神水は、大昔から村人の大切な生活用水として利用されてきました。番神水の名称の由来は、現在、円教寺が管理している三十番神を祭る番神堂が、そばにあるところから名付けられたものです。伝説によると、近くに住んでいた刀鍛冶が、この地を訪れた日蓮上人にお願いしたところ、この湧水を見つけてくれたといわれています。

ひ